

第三回関蝉丸芸能祭 出演者決定

5月28日に開催の「第三回関蝉丸芸能祭」で歌舞音曲をご奉納いただく18組が決定いたしました。

そのなかでも、今号では一足早く5組の出演者のプロフィールをご紹介します。

(プロフィールは、2～3ページをご覧ください。)

第12号
《平成二十九年珍生》
ニューズレター



P

第三回関蝉丸芸能祭出演者 (順不同、敬称略)

宇高德成 (能楽 金剛流)

SORORI (狂言 大蔵流)

逢坂小学校金管バンド (金管バンド)

木原 透 (ギター)

たまゆら (よし笛)

わらく堂 (ピアノ弾き語り)

大津祭龍門滝山 太間町 (郷土芸能)

itaru (津軽三味線)

大津絵踊り保存会 (郷土芸能)

膳所石鹿太鼓保存会 (和太鼓)

菊川太夫 (京都島原太夫道中・箏・舞)

山本克弘 (落語)

うすくら屋 (漫才)

まつうらようこ (ピアノ弾き語り)

旭城会 (琵琶弾き語り)

八坂雅楽会 (雅楽)

百町物語 (献茶式 茶道裏千家)

こうあん一座 (ちんどん屋)



※ムジカ アモーレ フェリーチェ (オペラ・クラシック) は、出演を辞退されました。



宇高德成 (うだかのりしげ)

能楽 金剛流

シテ方 金剛流能楽師 公益社団法人能楽協会会員
 宇高通成の次男。当代金剛宗家及び父に師事。
 初舞台は三歳の頃「鞍馬天狗」の花見役として出演。その頃から子方として舞台を多くつとめだす。修行を経てプロの能楽師となり、主な演目として「石橋」「乱」「葵上」。
 フランス、ドイツ、スペイン、ポルトガル、イギリス、ロシア、アメリカ、韓国など海外での能楽公演を多数参加する。
 現在、能楽を広めるため舞台活動の他に謡、仕舞のお稽古教室をひらく。能の解説、体験や間近で能面、能装束を見てもらうなど、ワークショップを開催しており多方面にて活動している。



菊川太夫 (きくかわだゆう)

京都島原太夫置屋くし菊こったい

京都島原太夫道中・箏・舞

慶應義塾大学卒業後、置屋『くし菊』に所属し元高砂太夫に師事。京都島原の太夫としてお座敷等で舞やお茶、琴などを披露し、太夫文化の継承と発展に努めている。神社仏閣での奉納や、ホテル等で太夫道中を行うこともある。
 京都だけでなく日本全国各地に呼ばれるほか、過去にはロシアやイタリアなど海外での公演も行い、日本の伝統文化を世界に発信している。



まつうらようこ

シンガーソングライター

幼い頃からピアノに慣れ親しみ、吹奏楽や合唱団など、音楽とともに成長、ピアノグレード・リトミックなどの指導者免許を取得。
 現在はシンガーソングライターとして滋賀を拠点にライブ活動を行う。確かなピアノの技術と表現力豊かな歌、ラジオパーソナリティで培ったトークを盛り込んだライブ感あふれるステージが好評。

平成 28 年はびわ湖ホール中ホール単独ライブを成功させ、オリジナル曲が全国区のCMソングにも採擷されるなど、活動の幅を広げつつある、各界から注目のアーティストである。

うすくら屋

漫才

平成 24 年結成。現在漫才協会所属。(左)シュースケと(右)リョースケによる双子コンビ。ネタは双子から時事漫才まで幅広いジャンルを扱い、第 1 回お笑い 番長決定戦準優勝。さらに平成 28 年度漫才新人大賞ファイナリストでもある。過去のテレビ出演では、超問(日本テレビ)、ピラミッドダービー (TBS)、スッカリ!! (日本テレビ)、漫才大行進ゲローゲロ(J:COM)等通算出演数は 15 本以上。



CM では過去にストライドガム他 3 本に出演。現在もベスポジ下着 CM に出演中。今年 2 月には東京新聞、中日新聞の芸能コラム「笑う神拾う神」にも掲載される。現在も自身の勉強の為、全国活動している。

逢坂小学校金管バンドクラブ

金管バンド

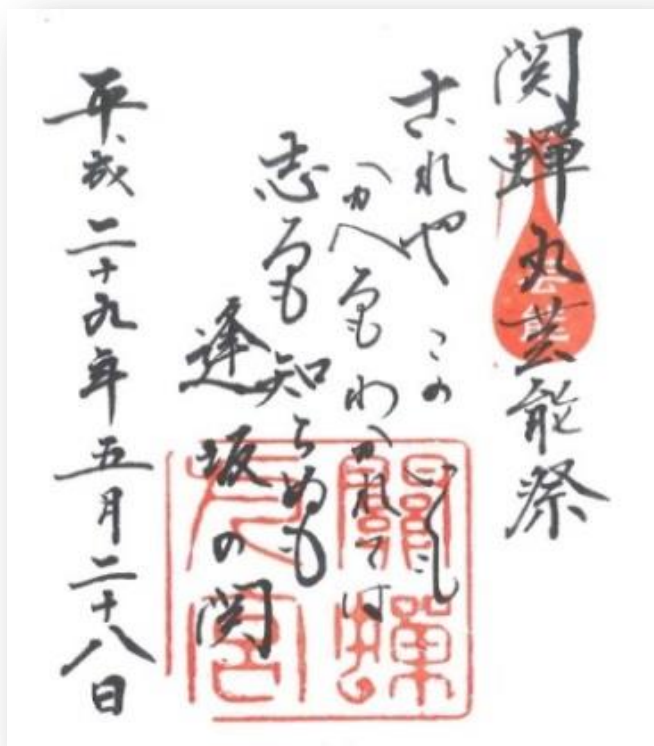
逢坂小学校金管バンドクラブは、平成 24 年度から活動を始めました。4 年生以上の音楽が大好きな子どもたちが集まり活動しています。平成 28 年度のメンバーは 99 名。普段は、月組と星組の 2 つのグループに分かれて、週 2 回、昼休みに楽しく練習しています。



関蝉丸芸能祭のご朱印ができました

第9号で関蝉丸神社のご朱印をご紹介いたしましたが、その後、関蝉丸芸能祭のご朱印もお受けいただけるようになりましたので、ご紹介いたします。いずれのご朱印にも、百人一首でも有名な蝉丸の歌“これやこの行くも帰るも別れては知るも知らぬも逢坂の関”を入れることができます。また関蝉丸芸能祭のご朱印には、関蝉丸芸能祭のシンボルマークである琵琶のシルエットを基調としたご朱印が入ります。

関蝉丸芸能祭ご朱印（左）／関蝉丸神社下社ご朱印（右）



ご朱印はいずれも、滋賀県神社庁でお受けいただけます。

滋賀県神社庁

所在地：〒520-0035 滋賀県大津市小関町3-26

電話：077-524-2753

受付時間：平日9:00～17:00

※予約が必要です。予め、受付時間内にお電話ください。

※「歌入り」と「歌なし」がございます。ご希望をお伝えください。

また、このニューズレターに挟み込みでご案内しております「第三回関蝉丸芸能祭サポーター」にご協力いただいた方にもご進呈させていただいております。

編集後記 関蝉丸芸能祭ニューズレターをお手に取っていただき、また最後までご覧いただきありがとうございました。第三回関蝉丸芸能祭の出演者が決定し、いよいよ5月28日の開催に向けての実行委員会の動きも本格化してまいりました。次号は、第三回関蝉丸芸能祭開催直前号となりますので、またぜひご覧くださいね。

関蝉丸芸能祭ニューズレター〈第12号 2017（平成29）年3月発行〉

発行責任者：関蝉丸神社芸能祭実行委員会 会長 川戸良幸

問合せ先：（株）まちづくり大津 住所 大津市浜大津1丁目4-1 大津市旧大津公会堂2階

電話 080-3822-5655

関蝉丸芸能祭ホームページ <http://semimaru.ehoh.net/geinousai.html>

